

## 令和7年度優秀現場技術者表彰

### ○工事に関する事項

1. 工 事 番 号 5壱水港第15号
2. 工 事 名 称 かつもとこううめたてこうじ  
勝本港埋立工事
3. 施 工 場 所 壱岐市勝本町勝本浦
4. 工 期 令和5年8月31日 ～ 令和6年7月31日
5. 請 負 契 約 額 124,501,300円
6. 工事成績評定点 77点
7. 工 事 概 要 工事延長 L=89.2m  
埋立工 V=11,723m<sup>3</sup> 仮設水路工 L=26.0m

### ○施工業者

1. 商号又は名称 株式会社 いちまつぐみ  
壱松組
2. 代 表 者 名 代表取締役 すえなが 末永 かつや 勝也
3. 住 所 壱岐市芦辺町住吉前触777番地

### ○現場技術者

1. 氏 名 さの けんじ  
左野 賢二

### ○優秀工事（現場技術者）として推薦する理由

本工事は、勝本港黒瀬地区において、県が既設の岸壁前面に物揚場を新設した後に、背面に土砂等を投入し、埋立を行う工事である。施工にあたり2つの課題があったが、次のとおり技術者の創意工夫により施工することができた。

一つ目は、埋立地の海底地盤は軟弱であり、区分に応じた適切な埋立材を使用することである。埋立材として長年県道トンネル工事の残土を鎌崎地区等に確保していたが、様々な土質が混在し風化していた。そこで現場技術者は、適時土質試験を実施し、風化した土砂を取り除くなど選定に努め、また、施工現場で泥化の問題が発生した際でも、置換案を提案するなど、徹底した品質管理を行った。

二つ目は、現地はHWL(朔望平均満潮面)+2.20mに対し、背後地の地盤高の関係から計画護岸高+2.90mに設定されており、潮位により均しなどの施工時間が限られることや、北側の風を受けやすいことである。そこで現場技術者は、潮位や気象状況に細心の注意を払いながら、随時工程を修正するなど工程管理を行った。

完成書類も、他工事の模範となるほど見やすく整理されていた。

上記のとおり、本工事現場技術者を優秀現場技術者として表彰する。

なお、本工事は評定点1位であるが、暫定的な工事であり、品質をもとめた工事であるため、「優秀現場技術者表彰」とした。

# 用地 平面図

S = 1 / 600

埋立延長 L=82.9m

埋立延長 L=114.1m

用地延長 L=111.3m

用地 A=2,800m<sup>2</sup>

用地 A=1,585m<sup>2</sup>

X=94,500

Y=17,800

X=94,500

X=94,400

変更1

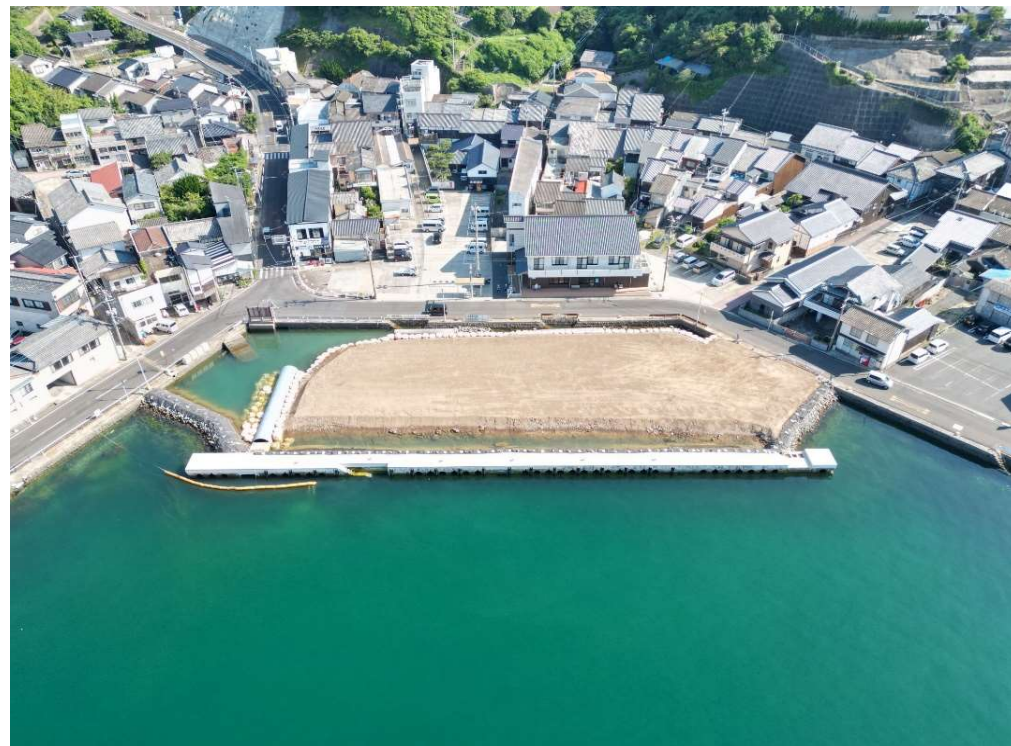
令和5年度	
勝本港埋立工事	
工 種	埋立工事
図 種	用地 平面図
縮 尺	S = 1 / 600
9葉の内1号	
長崎県 杵岐市	

## 5号水港第15号 勝本港埋立工事

着工前



完成



時系列

2月度

令和6年2月7日



時系列

2月度

令和6年2月7日



時系列

2月度

令和6年2月7日



・試料採取位置図：鎌崎ヤード

